

共生

奈良県生協連

2007年4月

NO.64

万葉のいぶきを求めてー(29)



飛鳥川源流付近にて

いは たるみ
石ばしる 垂水の上の さわらびの 萌え出づる春に なりにけるかも
志 貴 皇 子

志貴皇子は天智天皇の皇子です。天智天皇の没後皇位継承をめぐる起きた古代史上最大の内乱となった壬申の乱の生き残りの一人ですが、この乱によって政界の主流は勝利した天武系に移り、志貴皇子は冷や飯を食う羽目になりました。

雪解けの水が激しく岩をはみ、水辺にはさわらびが芽を出す。「ああ、春が来たんだなあー。今年は何かいい事があるかも知れないぞ。」閉ざされた境遇のなかで、春の訪れに喜びとともに期待を託す皇子の顔が水面に浮かぶ。

訪れる春に期待を託しながらも、存命中は天智系の出る幕はありませんでした。じっと堪えた人生であったでしょう。その天智系の出番が回って来るのは奈良時代末、称徳天皇の没後、志貴皇子の子白壁皇子が光仁天皇になるまで、志貴皇子の没後50数年を待たねばなりません。



新年度スタートに当ってのご挨拶



専務理事 仲宗根迪子

平素は当連合会の活動にご指導ご協力いただきありがとうございます。
また、柿本知事様にはこのたびの改選でご勇退されるにあたり、経済環境
厳しい中での県政の舵取りに感謝申し上げ、生協運営に多大なご支援をい
ただきましたことにこの場を借りてお礼申し上げます。



さて、昨年度の県連活動の大きな特徴は、生協法改正に向けての取組み
として県選出の国会議員のみなさま全員に二度にわたって生協の現状と法
改正の要望をお伝えすることができ、生協に対するご理解を深めて頂いたこと
です。議員のみなさまにはご多忙な中お時間を取っていただきありがとうございました。
今国会で法改正が議論されますが、私たちも生協の現状と役割を十分認識し、さら
に組合員のくらしを支える安心・安全な商品の供給に留まらず、地域社会にと
つてもさまざまな分野で貢献できるように取組みを進めていきたいと思います。

また、昨年は消費者基本法の一部改正で画期的な制度として団体訴訟制度が
生まれました。消費者契約の主役は当然消費者ですが、事業者との間に知識や
情報の格差があり、消費者被害はなくなりません。この問題に消費者が積極
的に関わり、健全化に寄与するためにも消費者のネットワーク化が求められ
ます。近畿の生協連合会と弁護士や司法書士、学識者や相談員など専門家の
みなさまと一緒にこの制度を活用できる新しい団体「消費者支援機構関西」
を立ち上げ、奈良県内でも活動を開始しました。さらに広いネットワーク作り
に貢献したいと考えます。

若い世代でも意義ある活動が生まれました。大学部会の学生と職員が日本の
生協運動のルーツを探るべく神戸へ1泊研修を行いました。県内別々の大学に
学ぶ学生たちが、学生生活の中で生協活動に触れる機会はわずかですが、
生活協同組合の意義を学び、自分たちの活動について語り合うことで確
信を得ることができたようです。将来、社会を担う若い人たちの研修に
貢献することができました。こうした活動がこれからも続くことを期待し
たいと思います。

11月に地域購買生協として「生活協同組合ウィルコープなら」が生まれ
県連に加入しました。全国でも最少の県連の一つですが、会員が9生協に
なりました。ともに生協運動を県内に広めたいと思います。

さて、今年度ですが、奈良県では食育推進計画が策定されます。また日本
生協連では「たべる たいせつ」と銘打って様々な活動提起をしていますが、
県の計画とともに会員生協の活動を支援していきたいと思
います。また、生協法が59年振りに改正されると定款や規約の変更が必
要となります。これらの課題を会員がスムーズに行えるよう情報提供など
支援に努めたいと思
います。これからも諸団体のみなさまと、よりよいくらしと地域社会づく
りのためにともに活動を進めたいと思
います。

もくじ

新年度ご挨拶	1	アースデー	5
県連 07 年度方針	2	ピースアクション	6
消費者課題	3	広がる協同・くらしの輪	7～8
食品安全	4	つながる連帯・友好の輪	9～10

07年度 県連はこんなことに取り組めます



今年度の重点課題、大切にしたいこと

- 1) 食育推進活動支援
- 2) 防災ネットワーク作りと災害時対応力の強化
- 3) 消費者課題の推進
- 4) 生協法改正に伴う諸規定等変更準備、情報提供

□ 「基本課題」

1. 安心して暮らせる地域社会作り

1) 食育推進と食の安全課題について

県食育推進会議での基本計画策定や食品安全懇話会への委員派遣を通じて積極的に参画を進め、推進を図るとともに、会員の食育推進活動を支援します。

2) 防災課題について

災害時物資協定の具体化を図るとともに、防災プラットフォームの県内ネットワーク作りを推進します。

3) 消費者課題について

県消費生活審議会への参画等、消費者行政との連携。また、消費者支援機構関西への継続的な活動支援。県内の専門家との連携を構築し、県や相談センターと情報交換を進めます。

4) 平和課題について

7月啓発学習、10月ピースキャンドルとアピール企画の実施を柱に取り組むとともに、憲法を学ぶこと含め8月を中心とした会員の平和活動を支援します。

5) 環境・福祉・生活文化・男女共同参画

CO2削減に向けて、省エネルギー、自然エネルギー活用などの活動支援を行う共に、アースデー企画や自然保全活動を支援し、情報発信を行います。また、高齢者や障害者の福祉活動とのネットワーク作り、男女共同参画や子育て支援活動の情報提供を行います。

2. 会員支援

助成含めた会員生協活動支援と奈良県大学生協協議会と連携、ホームページ・機関誌による情報提供及び発信を積極的に行います。また、災害対応等、防災研修と監事研修を行います。

3. 県・議会・他団体とのネットワーク

県行政担当窓口と日常的な情報交換、防災・福祉・県民生活など所轄以外の窓口へも情報提供を行うとともに、県選出国會議員、県議会、各党派との懇談を進めます。また、友誼団体とそれぞれのテーマで連携を進めます。

4. 生協法改正に併せて

法改正に伴う諸規約等の変更情報を発信するとともに、会員に向けた実務研修を支援します。

5. 県連の機能強化

情報の受発信能力を高め、情報の有効提供と具体化に取り組めます。

今どきカードあれこれ1



今やカード時代！あなたの財布にカードは何枚？（クレジットカードだけでも成人平均で2.9枚！）

□どんなカードがあるかな？

メンバーズカード （ポイント付きカード）

会員証代わり。ポイントつけて割引や特典サービス！スーパー、クリーニング、美容院、図書館も…店ごとカード

プリペイドカード

前払いカード。テレホンカードや交通カード（ICOCAやバスカード）、図書カード等。プレゼントに使われることも。紛失すればそれまで（涙）

キャッシュカード

自分の口座の出し入れカード。キャッシング機能付きは気をつけて。引出したつもりが借金に！

デビットカード

代金即時払いカード。自分の口座に直結、即支払い終了。

その他のカード

身分証明になる免許証や学生証・健康保険証・受診カード、玄関のカードキーなど失くせば大変！

クレジットカード

代金後払いカード。現金がなくても枠内ならお金もモノもその場で手に入る！小銭の煩わしさもなく、便利なようだけど金利がかかり、無計画な人は要注意！



キャッシングとキャッシュカード 似ているけれど大違い！

キャッシングは借金、キャッシュカードは預金引出し。

□カードは個人情報と引き換え？

☆前払いカードやメンバーズカードなどは特に申し込みなし。特典利用時に名前と住所を聞かれることはあっても多くの個人情報提供は必要なし。

☆事前申込書や審査手続きが必要なカードは、氏名・年齢・住所・電話番号、勤務先、時には家族構成から年収までさまざまな個人情報を提供します。相手は信用できますか？

□IC化時代！・・・ドンドン多機能に！

カード専用財布が必要なほどのカード化時代。これらの機能は次々進化しています。煩雑さを解消するためにカードの1本化を進めたり（電車とバスの共通カードなど）、サービスを付加したり（クレジット機能やキャッシング機能、支払い機能、ポイント互換性など）ドンドン多機能化。またステータスシンボルにも。ポイント貯めて特典を受けたり、便利なようだけど使いこなせる??? 落とし穴は???

□拡大するクレジットカード（クレジットとは信用）

持たない、という人もいますが、今やクレジットカード時代。2006年度の総発行枚数は2億9000万枚！現金決済160兆円に対して、クレジットカード30兆円、デビットカード1兆円、電子マネー1000億円。ちなみにクレジットカードによるキャッシングは7兆6000億円。そういえば給与が銀行振り込みになり、ローンというものができてからすっかり消費行動も家計管理も変わりましたね。

支払方法は1回・2回・ボーナス払い（手数料不要）、3回以上の分割・リボルビング払い（手数料要）とありますが、以下、クレジットカードについての詳しいことは次号につづきます。

こむらいふ奈良では「今どきカード事情」をテーマにカードの上手な使い方、落とし穴などの調査・学習活動をしています。関心のある方はどうぞご参加ください。（お問い合わせは生協連まで）

食育のススメ!

「食」は生きる力、心身の成長と人格の形成に大きな影響を与えます。だけど「食」を取り巻く問題はさまざま!健康栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の瘦(そう)身志向、「食」の安全、「食」の海外依存・・・「食」情報もあふれています。チョッと立ち止まってあなたの「食」をチェック!

「こ」食?が5食!

食風景

- 「個食」→ 家族がそれぞれ好きなメニューを食べる
- 「孤食」→ ひとり淋しく・・・
- 「固食」→ メニューが固定化。いつも好きなものだけ
- 「小食」→ 食欲がない?太るから?少ししか食べない
- 「粉食」→ パンや麺類大好き。野菜不足!



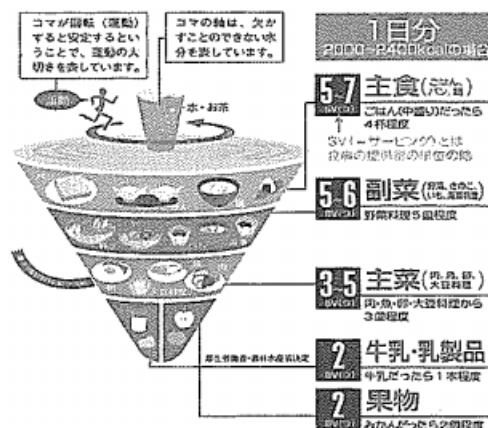
□食生活の現状『奈良県の場合』

- *子どもたち(小中高校生)に朝食の欠食が多い!
(小学生で9.8%全国の3倍、中学生で15.6%2.3倍、高校生で15%1.6倍)
- *成人男性の3割近くは「週に2~3日以上、朝食を食べない」
- *成人の野菜摂取量は1日271g!全国下から4番目。(目標350g!)
- *30~50歳代男性の3割は太りすぎ、20~30歳代の女性の2割が痩せすぎ
- *県民の9割が食に不安。偽装表示、輸入食品、食品添加物が上位3位
- *奈良県の食料自給率はカロリーベースで15%、生産額で31%。食糧輸入県です。
- *生産の担い手は?農林水産業者は20000人。65歳以上が約5割。
- *食品廃棄物; 外食産業の昼食の食べ残し3.1%。家庭では直接廃棄も含めて4.1%

..... さあ~て、あなたの場合はいかが?

□食育のススメ

- ☆食事を楽しもう、食事のリズム、一日の健やか生活リズムを
- ☆主食、主菜、副菜、バランスよくご飯など穀類しっかり、野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚など組み合わせ
- ☆塩分や脂肪は控えめに、適正体重を知って、生活に合った食事量を
- ☆食文化や地元の産物を。時には新しい料理も。
- ☆調理や保存を上手に、無駄や廃棄を減らそう



インターネットでも
手回しでできます!

農水省では食事バランスガイドの生活スタイル別チェックシート(親子編、働く男性編、若者編)を発行

問い合わせ先 http://www.maff.go.jp/food_guide/balance.html

皆集まれ!

「アースデー 2007 in なら」を開催します

今年で18回目を向かえる「アースデー in なら」は、大和川とのつながりを大切にし、河川清掃を引き続き全員で実施します。また、菜の花エコプロジェクトの展開を進めるため、実験的に廃食油の回収や環境保全活動助成団体や参加者と相互に情報の発信・交流の場として、地域の取組みの参考になるよう、親子で楽しめる、参加・体験型の取組みを多彩に取組めます。うらかな春の一日をご家族で楽しみながらエコライフの智恵を学びませんか？

開催日

2007年4月22日(日)

午前9:45～午後2:30(開場9:15)

入場
無料

会場

奈良県第一浄化センター自由広場

主催 ならコープ 共催 奈良県生活協同組合連合会

〈大和川河川敷清掃〉

参加者全員で河川敷の清掃をおこない、大和川の現状を知って、水質改善をめざすとともに行動することの大切さを考えます。

〈廃食油実験回収〉

参加者に廃食油の持参を呼びかけ、実験的に回収し、廃食油リサイクルの仕組みを学び、循環型社会の実現をめざします。

〈ステージ〉

音楽演奏や踊りなど、奈良県内で活動している団体、サークルに出演を依頼します。その他、環境保全活動助成団体の活動紹介をおこないます。

〈手作り工作・体験コーナー〉

木工クラフト、竹工作、アクリルたわし・廃油石鹸・ろうそくづくりなど子どもたちも楽しめる体験コーナーを設置します。Eボート(10人乗り手漕ぎボート) BDF車(レーシングカートなど)もっくん(木炭車)の試乗体験なども行います。

〈展示コーナー〉

大和川河川事務所の活動や、奈良県の取組みなどを紹介します。合わせて、大和川生活排水対策社会実験の経過と結果報告や環境保全活動助成団体の活動を紹介します。交流を深めます。また、ならコープの環境活動なども紹介します。参加を呼びかけます。

スケジュール

- 9:45 オープニングセレモニー
- 10:00 大和川クリーン作戦 清掃
- 11:10 ステージ「鼓笛隊」演奏等
その他 展示コーナー・環境
保全活動紹介・手作り工作体
験・フリーマーケットなど
- 14:30 終了予定



ピースアクション 2007 in なら！

草の根運動を主体にした取組みに変更して今年2年目を迎えます。06年度に引き続き、07年度、奈良県における平和運動の展開として、リレー行進に替えて「啓発活動」と「アピール活動」を二つの柱に地域を起点にした草の根運動の展開に取り組めます。

06年度活動報告

企画	日付	参加人数	講師その他	ジャンル
平和行進	6.26	15	京都市進受け入れ	平和行動
平和行進	6.30	10	大阪行進出発式合流	平和行動
平和講演会	7.9	150	安斎育郎氏	講演会
ピースキャンドルと映画会	10.7	208	アンゼラスの鐘	映画会
その他会員生協		622	12企画	各会員生協
合計		1005		

・06年度は、平和行進に替えて、県下で地域を起点にした草の根運動が広がりました。

□啓発活動 「日本の青空」上映会 を開催します！

開催日 2007年7月7日(土) 14:00～16:00 (13:30開場)

会場 ならまちセンター 市民ホール(奈良市)

内容 映画会 「日本の青空」

[ストーリー]

雑誌編集部に勤める沙也可(22)は、特集企画の「日本国憲法誕生の原点を問う！」で、名も知らぬ鈴木安蔵(憲法学者)の取材を進めることになる。一戦後まもなく、安蔵を中心にした民間人による「憲法研究会」が作成した憲法草案が、実はGHQ案のお手本になっていたという事実。安蔵の娘への取材に成功した沙也可は、託された安蔵の当時の日記を手がかりに、日本国憲法誕生を巡る真実のドラマを明らかにしてゆく…。(監督は「GAMA 一月桃の花」の大澤豊氏) — 申込み等詳細は6月から県連ホームページ掲載。

□アピール活動 「ピースキャンドル2007」

07年度秋(10月頃)に開催予定!

昨年は秋に「ピースキャンドルと映画の夕べ」を県文化会館で開催。長崎の原爆被害をテーマにしたアニメ「アンゼラスの鐘」の上映と般若寺「平和の塔」よりいただいた平和の灯を同会館「集いの広場」でろうそく約250本に点灯、夏の「灯火会」さながらに夕闇の中、幻想的な情景の中、平和への思いを参加者一人一人が深めました。今年も10月開催予定で準備中、是非ご参加下さい。詳細別途ご案内します。



広がる協同・くらしの輪

□新加入生協紹介「生活協同組合ウィルコープなら」

理事長 立石昭彦

昨年11月20日の創立総会で産声をあげました県内三つ目の地域生協です。ご支援をよろしくお願いいたします。

最初から私事で恐縮ですが、最近子どもとの関係でこんなことに気づかされました。つまり、「この子らはいいとして、彼ら（彼女）らが子育てするときに、食べもののことを次の世代にどのように伝えてくれるのだろうか」、この疑問を起点として世代を一つ跨いだ関係で想像してみると、家族でさえ伝える言葉を持っていない、世界を共有できていない、そのことでした。

戦後からバブルにいたる経済成長の一番の罪過はひょっとしたら、自分一代あるいはせいぜい次代までの「責任」しか考えない人間を作ってしまったことにあったのではないかと。そう考えると、「消費」をもとにして形作られた社会の限界を強く考えさせられます。私たちは、モノの豊かさの一方で世代を超えた「共有できる世界を想像（創造）する」という最も人間らしい側面を喪失してきたように感じます。

わが国における食べものをめぐる問題はこのような世代を超え、あるいは空間を超えた人間性の創造に直接に関わるものだと考えています。21世紀に船出する生協として、「共有できる世界を想像（創造）」することの豊かさを問いかけることのできる生活者と、そのコミュニティ作りを目指したいと考えています。

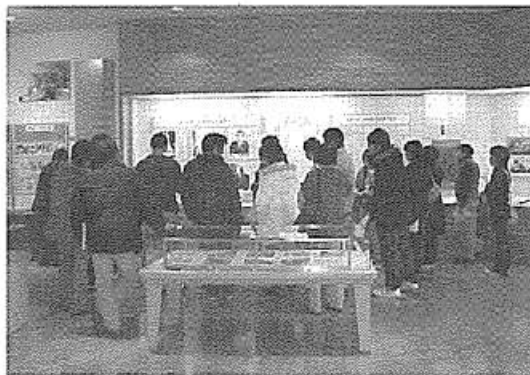


□県連大学部会「合同合宿」を開催！

賀川豊彦記念館を見学（コープこうべ「協同学苑」）

1月20、21日県連大学部会主催で、生協理念について学び、各自の防災意識を高めることを目的に、コープこうべ協同学苑にて1泊2日で「合同合宿」を行い、県内大学生協学生・役職員と京・滋・奈良地域センター事務局メンバーの計25名が参加しました。研修先として、「協同学苑内 賀川豊彦記念館」と神戸市中央区にある「人と未来防災センター」の見学を行いました。

賀川資料館では、協同学苑統括部長深田氏による説明を受け、質疑含め内容を深めることが出来ました。また、防災センターでは、被災者語り部によるお話が聞け、シアター体験に加え、被災者のお話に参加者も大きな衝撃を受け、生きること、命を大切にすること、助け合うこと等について改めて考える機会に繋がりました。夜の交流研修、また往復の車上では各自が感想を出し合うとともに、役職員含め相互の交流が深まり、次に繋がる若い力への期待を感じる楽しい合宿が出来ました。



□県連役職員研修を実施しました！

県の防災の現状と救命蘇生術の実践をテーマに開催。

1月19日（金）共済会館「やまと」において、県連主催「県連役職員研修」を防災をテーマに開催しました。

年頭に当り県連役員を中心に1年の防災意識の啓発を目的に、会員生協関連部局のご担当にも参加を呼びかけ、県防災統括室と奈良市消防署のご協力を得て取組みました。

当日は、ならコープを中心に大学生協役員職員・学生、労済生協の代表含め13名が参加。前半、県防災統括室 峯瀬室長様より、奈良県の防災システムの最新状況についてご講演をいただきました。後半、奈良市消防署佐保分署 綿谷様より、心肺蘇生術の実践とAED（自動体外式除細動器）の使い方について実践研修をしていただきました。

峯瀬室長様からは、県の物資確保の方向性、通信網の現状、避難所の設置や隣接県との連携等について、より具体的な内容で最新の状況についてご報告があり、着実に対策が進んでいることが良く分かり、参加者の防災意識を高めました。



□県議会と奈良新聞へ表敬訪問しました！



「県議会議長飯田正氏」

公務ご多忙中、懇談のお時間をいただき、生協法改正等、活動の最新の状況をご報告、ご理解とご支援をお願いしました。



「奈良新聞社甘利治夫代表取締役」

ご多忙中懇談いただき、種々の取組みの記事掲載へのお礼と活動の現状について報告、引き続きのご支援を要請しました。

つながる連帯・友好の輪

□桜あかりの集いが開催されました！

阪神大震災から12年を迎えるに当って

1月13日特別養護老人ホーム「あすなら苑」(大和郡山市)にて、今年12年目を迎える阪神大震災の犠牲者の冥福を祈ろうと、ならコープ組合員サークル「桜(鎮魂)の会」(前田美代子代表)が「桜あかりの集い」を開催しました。苑庭に3本の「鎮魂の桜」が植樹さ



れて今年で2年目を迎え、この日組合員やその家族、施設利用者約70名が参加しました。神戸市で燃え続ける「1.17希望の灯り」からの分灯を桜のもとでろうソクに灯し、震災で亡くなられた方々のご冥福と防災の意識や互助の心が広く育つことを祈りつつ、しめやかに取組まれました。



□ゼロエミッションセミナーが開催されました！

ゼロエミッションと地域社会を考える

2月2日高田地場産業振興センターにおいて標記のセミナーが奈良県中小企業団体中央会主催で開催され、流通業者代表として県連仲宗根専務理事がパネラーとして出席しました。ゼロエミッションとは、社会全体で排出される廃棄物の総量を最小化し、循環型による廃棄物ゼロを目指すこと。前段、東京農業大学 牛久保明邦教授が「食品リサイクルと再資源化への道」をテーマに講演、現行食品



リサイクル法の概要と問題点について触れ、食品廃棄物年間4億トン、内5000万トンが一般ごみ、その3分の1を家庭ゴミが占め、1人当り年間1.1Kg排出していることにどのように対応してゆくか、また、分別が進む中、行政における最終処理の仕方の問題などについて報告がありました。仲宗根専務理事からは、会員生協ならコープの取組みとして、環境マネジメントについて報告を行いました。



□おてんとさん2号機点灯式が行われました！

奈良市の社会福祉法人「ならのは」に、県内で2例目の市民共同発電所が完成し、そのお披露目と点灯式が去る2月5日同施設にて開催されました。

地球温暖化防止に取り組む市民団体「おてんとさん」（ならコープ清水順子代表）が設置に当って推進母体となり、県連は支援団体として募金等に協力してきました。この日、募金に協力した市民や「ならのは」を利用するお年より、子供ら約100人が参加。点灯式では太陽光発電で生まれた電気で明かりが灯った。今後、年間1万1千キロワットを発電、同施設の二酸化炭素排出量削減に期待がひろがります。



□奈良の食文化研究会が講演会を開催！

特定非営利活動法人「奈良の食文化研究会」が2月18日、奈良市三条町の市中部公民館で第3回食育講演会「子供・家族が身近な食育を考える」をテーマに講演会を開催、会員・一般約40名が参加しました。

野菜にスポットを当て、同会副理事長 的場輝佳 奈良女子大名誉教授が「食育と大和の野菜」と題して講演。奈良は元来農業技術が非常にレベルが高く、かつ農業が盛んであったこと。また、食育の実践事例として京都の小学校で展開されている「日本料理に学ぶ食育」を紹介。講演後、「のっぺい汁」「真菜の甘酢味噌和え」「やじろ餅」など県産食材で作った郷土料理を参加者で味わい、後半は県健康増進課岩橋明子氏が食育基本法の背景・内容や県の食育の現状報告が行われました。



県連ホームページ

県連の活動の最新情報を随時、アップしています。
是非一度覗きにきて下さい！

見てね！

アドレス：<http://www.narakenren.coop/>

県連日誌

1月

- 4日 県知事名刺交換会
- 8日 国会議員訪問
- 23日 桜あかりの集い
- 13日 もてなしの心推進県民会議
- 16日 県連理事会
- 20-21日 大学部会合同合宿(神戸)
- 24日 地連災害対策研究会
- 26日 県議会議長表敬訪問
- 30日 奈良新聞社表敬訪問

2月

- 1日 男女共同参画委員会(地連)
- 2日 ゼロエミッションセミナー
- 3日 おてんとさん2号機点灯式
- 5日 県連大学部会
- 6日 食と農(みのり)の県民会議
- 7日 食品安全推進会議(地連)
こむらいふ奈良
- 8日 地連運営委員会
- 18日 食文研「第3回食育講演会」
- 22日 地連府県連協議会
- 27日 もてなしの心推進県民会議

3月

- 1日 近畿農政局・府県連協議会懇談
- 8日 県連理事会
- 9日 生協法改正状況報告会(日生協)
- 13日 近畿地区府県連協議会(福井)
- 16日 県連監事研修・こむらいふ
- 20日 図上演習(地連)
- 28日 ピースアクション実行委員会

お知らせ

第18期奈良県生協連「通常総会」について

以下の要項で、第18期奈良県生協連「通常総会」を開催します。(オブザーバー参加可)

開催日

2007年6月16日(土) 10:00～12:30

会場

奈良県文化会館 多目的室(地下1階)

内容

2006年度まとめと2007年度方針の提案と
その他審議・採択

編集後記

今年には統一地方選挙の年。知事選挙と、県議会選挙、市町村の首長や議会選挙、参議院選挙など、次々と県民・市民の審判を仰ぐこととなります。国や県の将来を行政や議会に任せっぱなしにするのではなく、市民が関心を持ち、関与していくことが大切だと思います。まず棄権しないで投票に行こう！(迪)

4月、新年度がスタートし、チャレンジ精神を忘れず、気持ち新たに、諸課題に取組んでいこうとしています。反面、また、ひとつ年齢を重ねることに、自身自身のこれからの生き方について思う時、現在、五木寛之著「林住期(りんじゆうき)」と言う本を共感と関心を持って読んでいます。人生を二五年ごとに分け、各期ごとに生き方があると言い、「林住期」はその3期目に当り、最も充実した時間であるべきと書いています。少し気持ちの後押しされたようで、今年も色んなことにチャレンジして行こうと考えています。(正)